



すいません、
隣いですか？



ええ……まあ
それもあるんですけど……

平日なのに
混んでるわねえ
積丹って人気ののね

あなたも
観光？



他に空いてる席が
なくて……

あら大変
どうぞ！



それで会いに？
ステキねえ！



高校時代の
……その……
同級生が

もうすぐ
積丹で
結婚するんです

あら！

「シャコタン・ブルー」
って名前が付くほど
海が青くてキレイ
なんですって！

幸しければ、

私、これから
神威岬カムイサキに行く
んだけどね

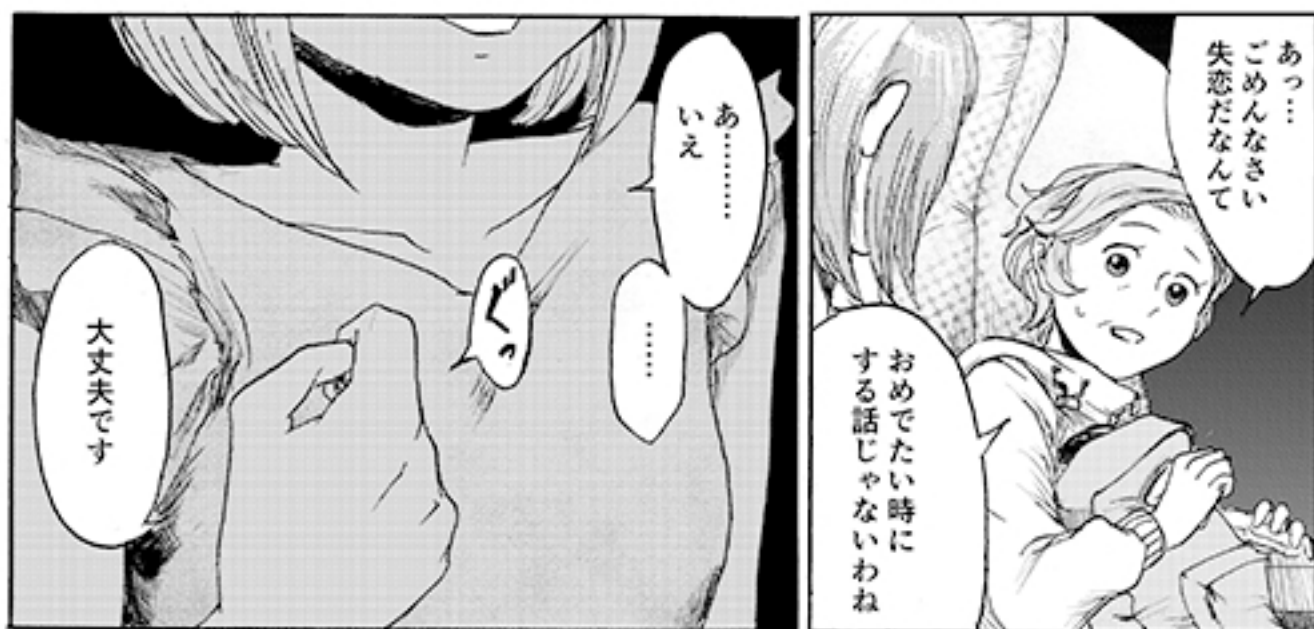
義経北行伝説って
知ってる？

源義経が奥州で
自害したんじゃないかって、
実は生き延びて
北海道へ渡ったっていう
伝説が各地に残って
いるの

神威岬にも
義経の伝説が
残っててね…

旅で訪れた義経に
恋焦がれたアイヌの娘が

失恋した悲しみで
身を投げたって
伝説があるのよ



東京高等学院 同窓会

1日前

こはる
小春！

アキ！
久しぶりー！！

おー！！
ずいぶん姉さん
なっちゃって！

うっわアンタ
大丈夫？

うるさいな
こっちは男を作り
に上京したんじゃないよ

えっ…何それ
あんな大都会で2年も
大学生やってて
男の一人もいないわけ！？

東京で何人の男を
侍らせてるんだい？

おりませんし

何で尊敬の前様なの？

……
もしかして
小春さあ…







早見、もうすぐ
結婚するんだってさ



ちよ…
ちよっと

この際だから
アンタに教えておくけど



早見が積丹のお祖父ちゃん
とお祖母ちゃんのところ
で漁師やってみるって
知ってた？

積丹で結婚して
お祖母ちゃん
の民宿を
夫婦で継ぐんだって

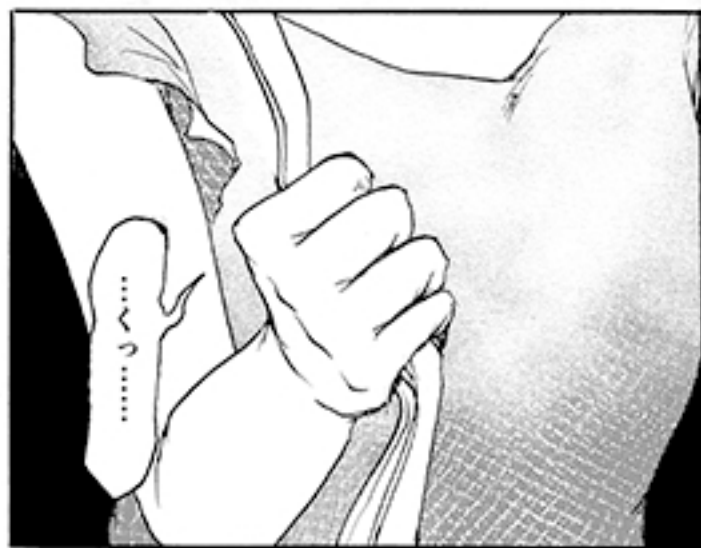
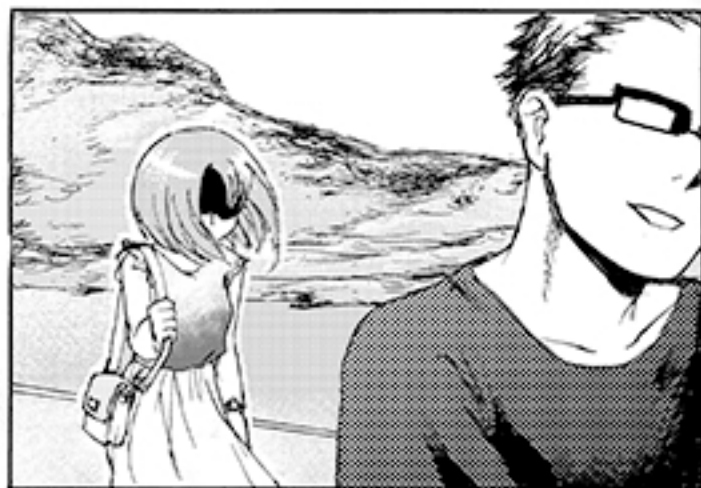


ねえ 小春
黙っているだけじゃ

こういふことだ
って起こるんだよ



小春はいつまで前に進まないでいるつもりなの？



そオオオオオ

アキの奴——!!

久々に会えたと思ったら
何よあの態度!!
ほんっと変わってない!!

アキ 17才

ハンパチデメッテンレ
わびんをたぬと仰よ

迎えに来るやつたぞ
昔アキだったか?

余計なお世話
だつっ—の!!

親お!!

「前に進む」ったって
今更どうしろって
いうの!?

はあ……

アキがあんなこと言うから
こんなところまで来て
しまった……

女人禁制の地 神威岬

ねっ！
川瀬さんお願い！
今日ヒマでしょ!?

私ね、今日もまた
外せない用事が出来て
行かなきゃなんだあ

だから学祭の準備
代わりにやって
おいてくれない？

あんたさあ……
デートって「外せない用事」
って言わなくない？

ほんと
便利

え………そっか…
別にいいけど……

きやー！
ありがとう!!
助かったあ

いーのいーの
川瀬さん優しいから
何でもやってくれるし



いっ

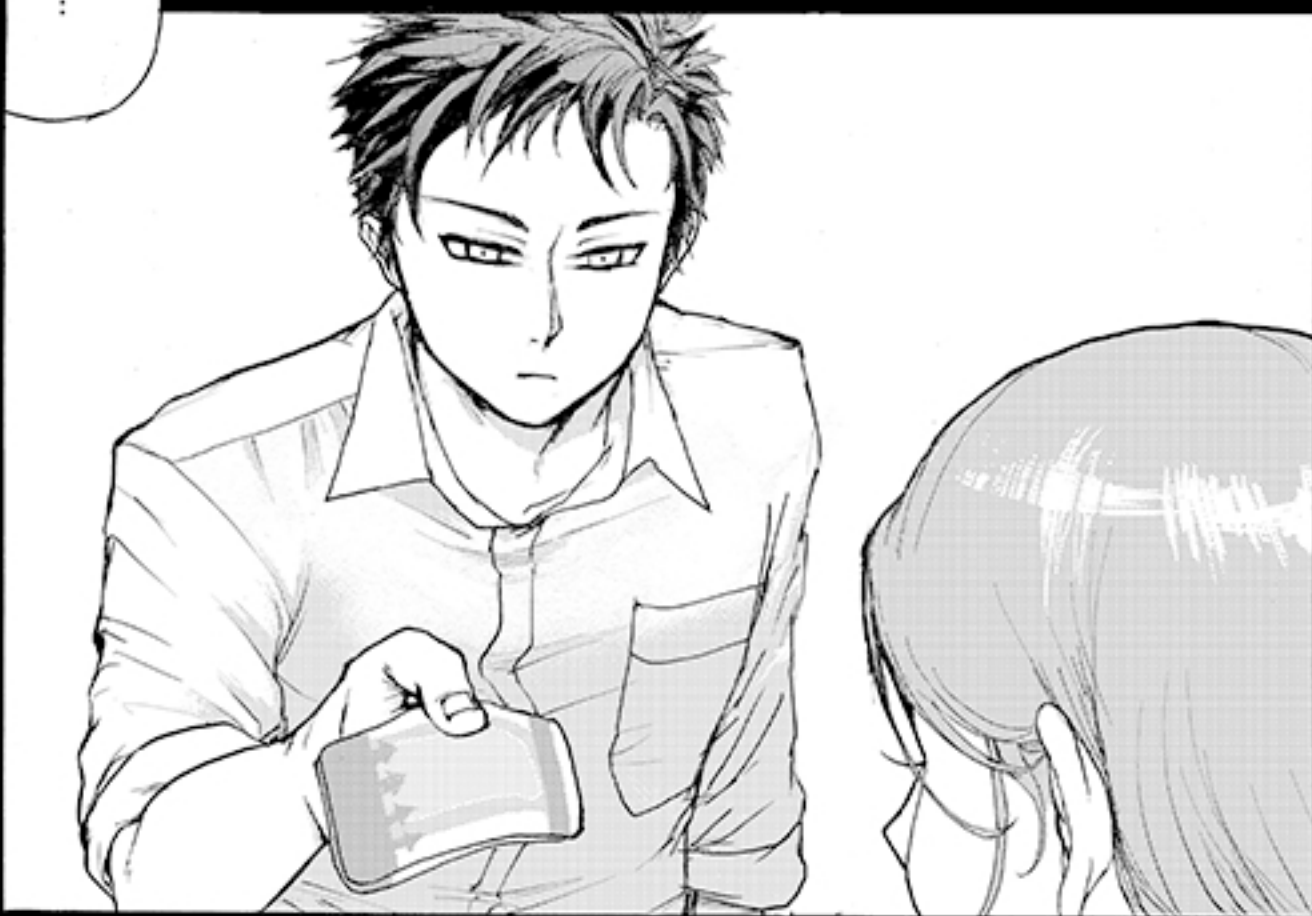
私も帰って
勉強しなかった
んだけどなあ

「便利」……か



いったあ……
段ボールで
切っちゃった

結構ハテに
やっちゃったな……



あのさ
川瀬……

前から思ってた
んだけど……



おわあッ!?
びっくりした!

早見くん!?

2枚あるから
使って

俺はよくケガするから
たくさん持ってる



さっきの二人の話
聞こえてただろ

他人に嫌われないこと
だけが自分のためになる
訳じゃないんだ

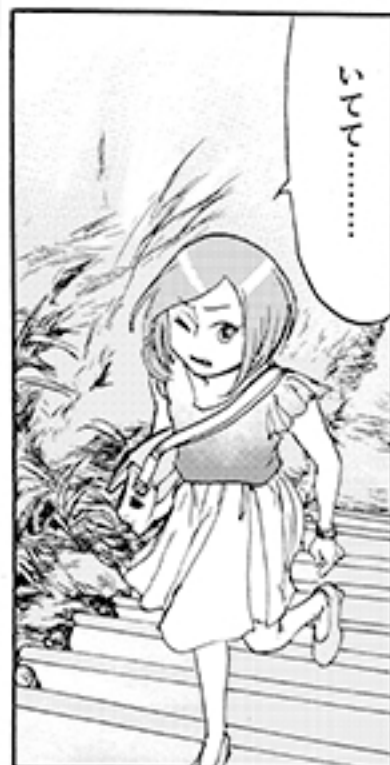


もっと自分を
大切にした方がいい



だから川瀬は
もっと自分勝手に
なっていると思う





思った以上に
険しかった……






その娘がチャレンカって
いうんだけどね

義経はチャレンカを置いて
また旅立ってしまうの


チャレンカは義経を追って
険しい道を走ったけど

岬の端にたどり着いた頃には
もう船は沖へ出てしまっていた



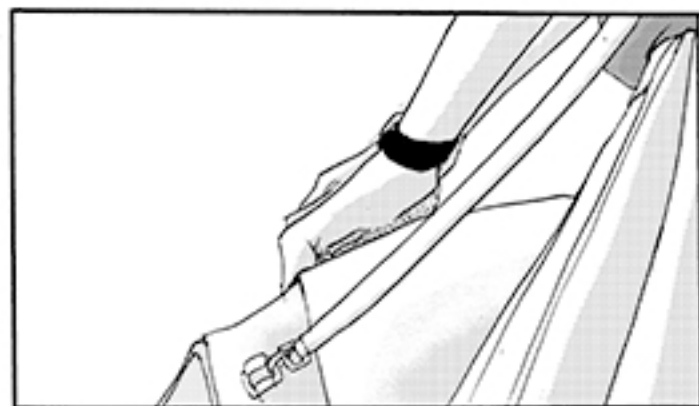
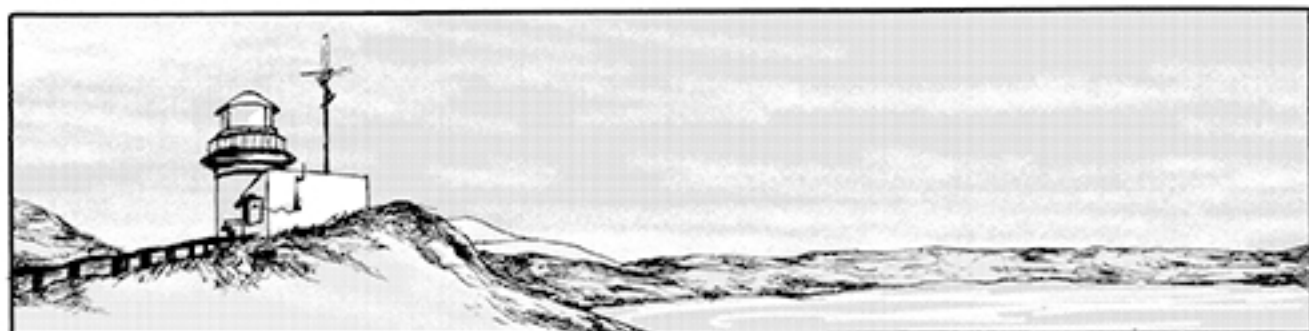
悲しみに耐えきれなかった
チャレンカは
恨みの言葉を遺した

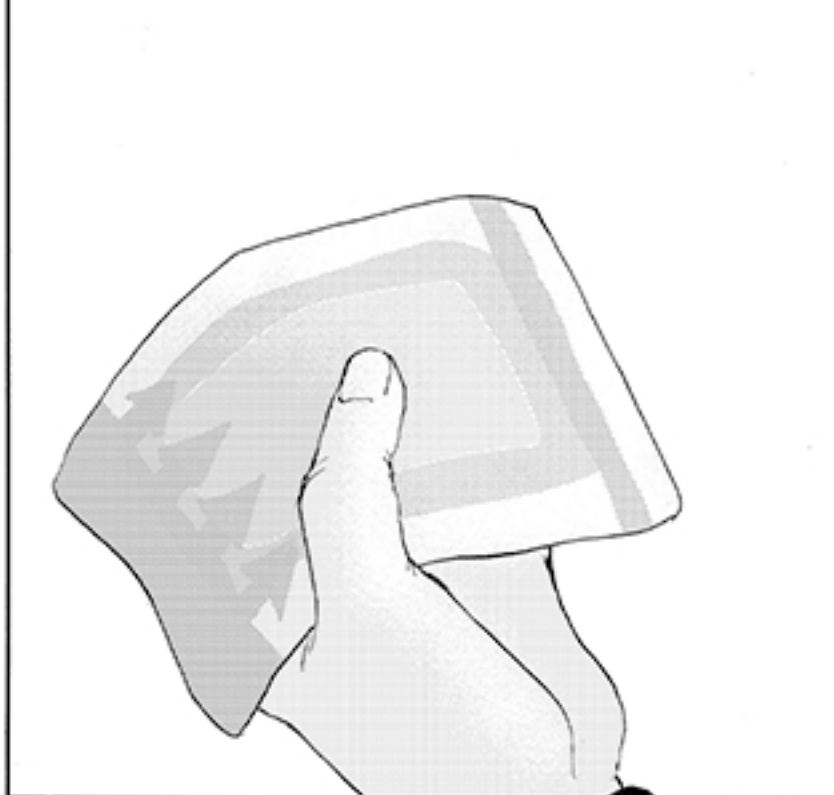
「和人の船、婦女を乗せて
ここを過ぐればすなわち
覆沈せん」



身を投げた
チャレンカの体は
神威岩へと変わった

それ以降は
女が乗った船が近づくと
すべて転覆したという





言いたいことも
言えないでうじうじして
何も行動しない



あの頃の私と
全く変わってない

あのとき早見くんが
教えてくれたこと



私、少しも学んで
なかったんだね

住所も知らないのに
ここまで来ちゃって



……
お祝いだけでも
言いたかったな……

中途半端な
ストーカーかよ……
くす

ここに立った
チャレンカも

同じ気持ち
だったのかな



義経との思い出が
自分の一部みたい
になっちゃって

切り捨てられ
なかったから

自分ごと捨てるしか
なかったのかな

もっと自分を
大切にしたい方がいい

私にはまだ

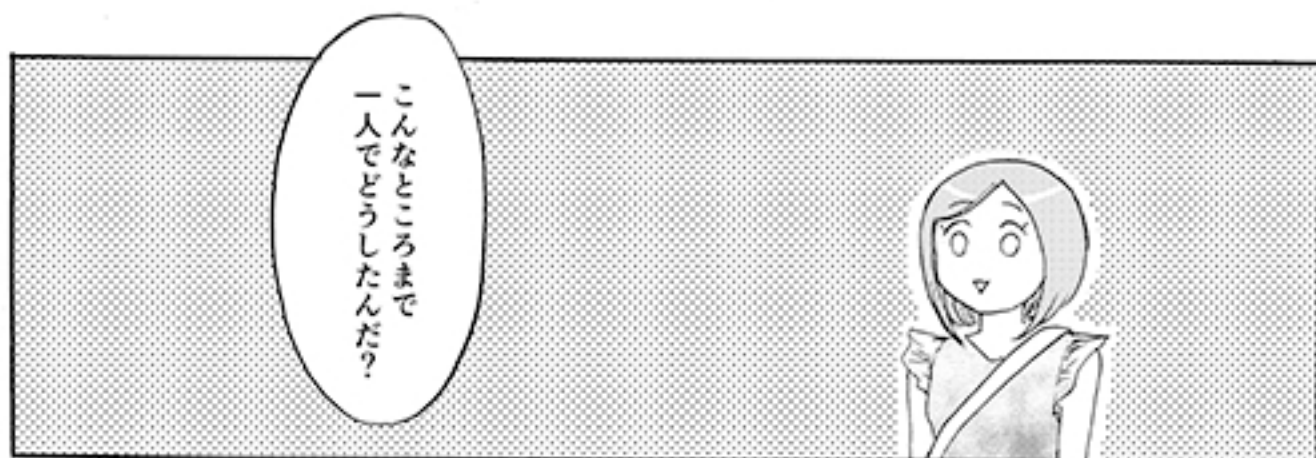
捨てられる
ものがある

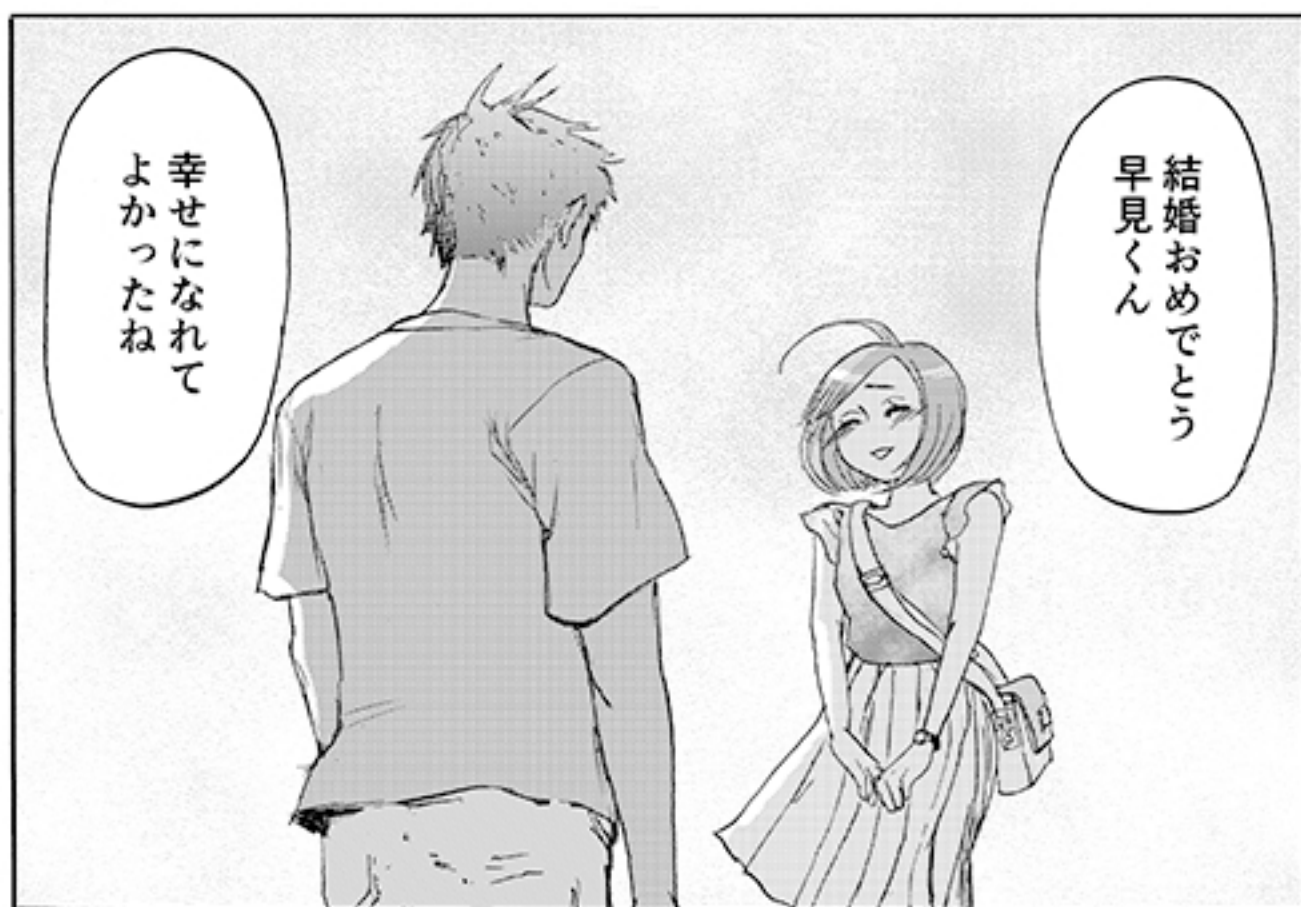
大丈夫











誰から聞いたんだ？

あ



俺…別に結婚なんてしないけど



今度結婚するのは俺の姉ちゃんの方だよ

姉貴……？

そう



え……だって

アキ……が……

ああ三島か
吹奏楽部の

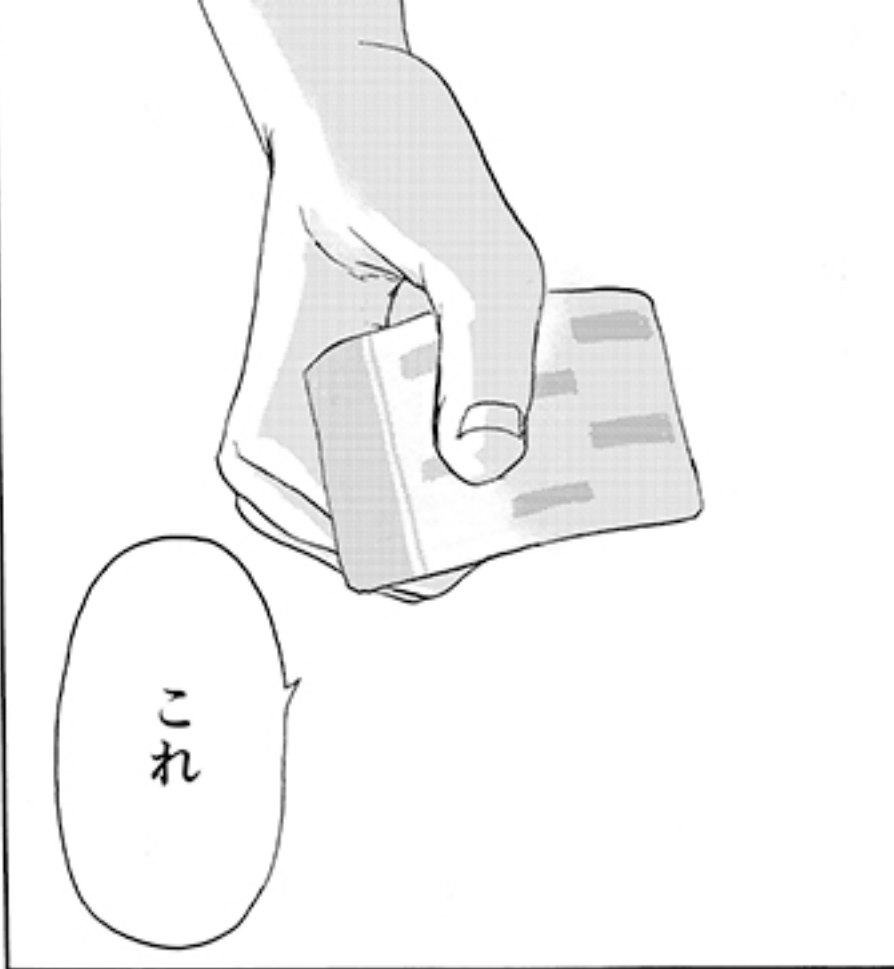
あいつ俺の姉貴の後輩だったんだ

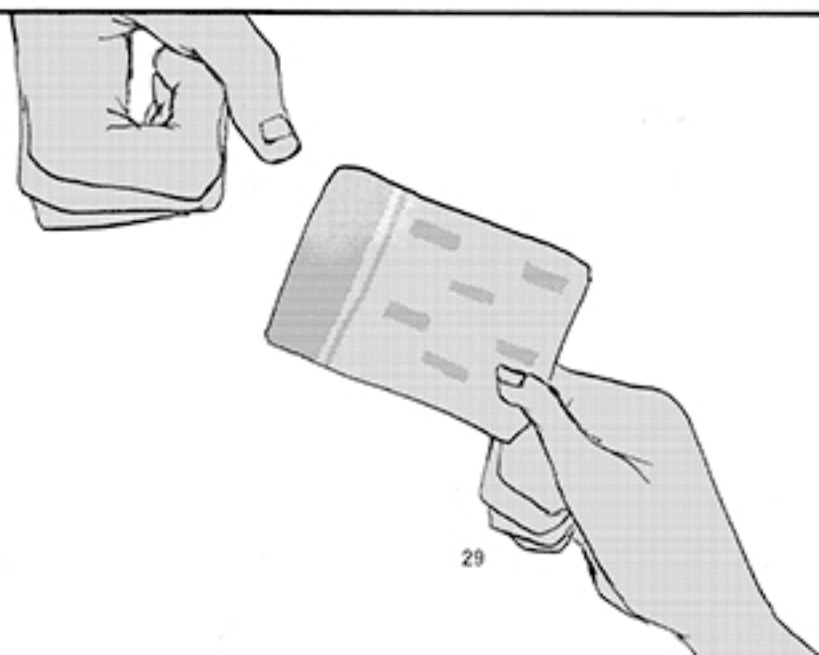
だから知ってたのか



三島からどう聞いたんだ？









.....ありがとう

下に降りよう
姉貴が車で
待ってる

.....まったく
こういうこと
だったのか
姉ちゃんの奴.....

...?
何が?

何でもない

...というか早見くん
今もサビオ持って
歩いてんだね

くイ

...ティッシュは
持っていないからな

鼻水は
自分で
拭けよ

えッ嘘ヤダ
出たの!?

いや
だからさあ

住所知らなくなつて
衝動だけで動くところ
あるからさあ小春は

ああいえばとりあえず
神威岬まで行って感傷に浸りに
行きそうだなあなんて思つて
……でも本当にそつちに
行つてたとはねえ……

うげるわあ

神威岬つて
失恋の伝説が
あるらしいじゃん？

……それで姉貴を使って
俺を神威岬に誘導したのか



昔から本当に
恐ろしいことするな
……三島

言っとくけど別に
嘘はついてないぞ

はっはっは

だって早見の
夏樹くんの方が
結婚するなんて
一言も言っていないし

そんなことより
夏樹くんよ
そんな口利いて
いいのかなあ？

君も小春のこと今まで
ずっと気にしてたって
本人に言っちゃうぞお？

それは俺が
自分で言う

……やめろ

